

## 歴史学習の意義

KaniKe

歴史を学ぶ事にさしたる意味はない。

私はそう思う。

しかしながら世の中には歴史を学ぶ事に意味を見いだす人達も居るとおもう。

そこで、まずは歴史を学ぶ事に意味がある理由を私の思いつく範囲で挙げたいと思う。

- ・ 楽しいから
- ・ 自国の正当化のため
- ・ 現在の状況判断の糧になるから（歴史は繰り返す）

以上である。

では一つずつ検討していきたいと思う。

・ 楽しいから—これについては反論の仕様が無い。私を巻き込まないで勝手にやって頂きたい。

・ 自国の正当化のため—これについても一定のメリットは認められるように思う。しかし、**1000**年も前の時代を神話になぞらえすらせずに学ぶ理由としては幾分不適当なように思う。

・ 現在の状況判断の糧になるから—これについて反論をしていこうと思う。

反論の理由をいくつか挙げようと思う。

まず、日常的でない点だ。

例えば、たけしくんが**140**円のパンを買いに行くとする。

果たして**1000**円札を持っていくべきなのか、或いは小銭で丁度の額を持っていくべきなのか。

このような事象に対して一体歴史のいかなる部分が役に立つと言うのだろうか。歴史教科書のいずれの頁にもこの状況で選択すべき選択を示す情報が載ってはいないと思う。

つまり、歴史に於けるあらゆる事象は日常生活を送る上で適切な判断の元になるような情報を提供し得ない。

次に、歴史は事実ではないと言う点だ。

この点については例えば、A国とB国間で戦争が起こったとしよう。直接原因を作ったのが仮にA国だったとして、A国がこの戦争に勝利した場合に歴史書にA国が原因で戦争が発生したなどを書くだろうか。当然B国の責任になるのではないだろうか。なぜならば歴史は書かれた事しか後の世に残らない為に自国を正当化する為の手段として利用される為である。つまり、歴史は歴史中の事象が正確に伝達されない以上判断の正確な基準となり得ない。

さらに、サンクコストに関連して歴史を学ぶべきかについても考えてみようと思う。

歴史の当事者達の価値観が全く異なるであろう状況下で若干無理のある話ではあるが、それまでの状況の変化があまりにも歴史通りだった場合に、その次のアクションを歴史通りにするべきか否かにはそれまでの歴史の流れとは関係ないと言うのが歴史に於けるサンクコストの考え方だとなしたい。

たしかに、歴史には流れがある、という考え方にはある程度賛同できる。

例えば、カエサルがルビコンを渡るか否かを決断する際には間違いなくそれまでの歴史が形作った彼の経験や、元老院を始めとした周囲の環境が決断の理由になっているはずだからだ。

しかし、その流れと言うのは些細な事で変化しうるのではないだろうか。カオス論の考え方からも些細な事で変化しうる、と言えるように思う。そして、些細な事で変化しうる、と言う事は、歴史の流れと同じ、と言う観測が不十分であり、一見同じに見えてもそれまでの歴史と同じ事は起きない、と言えると思う。

以上より、私は歴史を学ぶ事に関して自国の正当化と言う面に於いて一定のメリットは認めるが、その他の効果についてはない、と考える。

しかし、殊今後の選択を行うと言う点に関しては明らかに無意味であると主張したい。